授業科目	日本の歴史と文化地理Ⅰ					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期
担当教員	清水　順子						
授業概要	これまでの学校教育や生活の中でおぼろげに“知っている”日本の歴史、文化地理について、自ら調べ・考え、他者に表現し、それに対する他者の考えを知ることを通して、自分のものとして理解していくことをめざす。このために、授業では教員による講義とともに受講者によるプレゼンテーションとフィードバックを主軸とする。また、毎回の授業の初めに、日本の歴史地理文化に関する基本的な事項の確認も行う。						
授業形態	講義				授業方法	プレゼンテーション・ディスカッション GoogleClassroom を活用し、資料等の共有を行う。	

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．日本の歴史・文化地理に関する基盤的知識を習得する。 2．日本の歴史・文化地理について自分自身の見方・考え方を持つことができる。 3．日本の歴史・文化地理について他者に自分自身の見方・考え方を表現できる。
理想的レベル	日本の歴史・文化地理についての豊富な知識を背景に、他国・地域の歴史・文化地理との対照に基づき自らの考えを持つとともに、それを他者と共有していくことができる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	30%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	30%	
レポート外の提出物	30%	
その他	10%	授業への参加度、提出物

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	EN11306J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
予習：該当部分の予習を行う。 復習：発表やフィードバックをまとめ、振り返りを行う。	4

授業計画	
第 1 回	オリエンテーション 日本地理の基礎確認／文化地理とは
第 2 回	日本史の基礎確認 歴史と文化について
第 3 回	トピック１日本の文学：短歌・俳句・文学 地理１：日本の気候
第 4 回	トピック２伝統芸能①：能，歌舞伎，他 地理２：日本の地形

第 5 回	トピック３伝統芸能②：能，歌舞伎，他 地理３：文化財・記念物
第 6 回	トピック４伝統芸術①：生け花・茶道 地理４：日本の世界遺産
第 7 回	トピック５伝統芸術②：絵画・陶芸・民芸 地理５：日本の自然公園
第 8 回	トピック６伝統芸術③：盆栽・庭園 地理６：日本の山・川・湖沼
第 9 回	トピック７建築・住居：代表的建築物・建築様式 歴史１：日本史概観
第 10 回	トピック８日本の宗教文化：宗教文化・建築 歴史２：古代
第 11 回	トピック９行事：年中行事・祭り 歴史３：中世
第 12 回	トピック１０習慣：地域風俗、習慣 歴史４：近世
第 13 回	トピック１１食文化と日本人 歴史５：近代　歴史６：現代
第 14 回	各発表に対する意見交換
第 15 回	総括
テキスト	教科書は使用しない。 授業中に資料を配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	適宜授業中に紹介する。
課題に対するフィードバックの方法	提出物はコメントを付けて返却します。
学生へのメッセージ・コメント	日本の歴史・地理に関する高校までに学ぶ基礎概念を基盤とし、講義を行います。 自身のプレゼンテーション、他者のプレゼンテーションを聴く・フィードバックを行うことで学習効果は変わります。ぜひ、能動的・主体的参加を心掛けてください。